

北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校
令和5年1月13日発行
文責：校長 上田 敏浩

令和5年生徒会引継式

～新しい生徒会へ～

1月10日(火)、令和5年生徒会引継式をリモートで行いました。令和4年の生徒会役員から、退任のあいさつがあり、それぞれの役での思いを語ってくれました。生徒会役員だから見えた風景、また、人知れずの苦労もあったことと思います。今の北有馬中学校生徒文化を築いてくれた旧生徒会役員の皆さん、本当にご苦労様でした。

令和5年の新生徒会役員の皆さん、これまでの良いところを引き継ぎ、さらに自分たちが掲げた目標の達成に向けて、尽力してほしいと思います。大いに期待しています。

なお、引継式で引き継いでいる校旗は、昭和33年11月、当時の三宅勝馬校長先生が県にお願いし、佐藤長崎県知事から寄贈されたものです。当時は北有馬村でしたので、校旗にも「北有馬村立北有馬中学校」と記されています。時の重みや当時の関係者の熱意を感じる、学校の宝でもあります。大切にしたいものです。



旧役員より退任挨拶



校旗の引き継ぎ



新生徒会長挨拶

イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト出場

1月6日(金)、西有家町のカムスで、令和4年度イングリッシュ・パフォーマンスコンテストが開催されました。本校からは、2年の佐原有紗さんと、1年の竹市秀太郎さんが出場し、流暢な英語でスピーチを披露しました。

当日の様子は、下記ケーブルテレビにて放映されますので、紹介します。

<ひまわりテレビ>

1月16日(月) 初回放送 7時～ 再放送 同日 10時～、12時～、
15時～、19時～、22時～

1月21日(土)・22日(日) 7時～、19時～

特別番組 2月13日(月)・14日(火) 21時～
2月18日(土) 15時～

<かぼちゃテレビ>

1月16日(月) 初回放送 12時～、再放送 同日 15時5分～、19時～、
20時5分～、21時～

1月17日(火) 3時～、5時～、7時5分～



3 学期はこんな生徒に ～締めくくりにあいさつが嬉しい学期に～

3 学期がスタートしました。今学期は、あっという間に過ぎていきます。一年間の締めくくりとして、こんな生徒になってほしいということを下に記しました。皆さんのさらなる成長を、全力で応援します。

1 服装や返事、所作を整え、夢や希望、感謝の言葉を伝え合う生徒に

3 年生は卒業を迎え、また 1・2 年生は進級を控え、4 月からはそれぞれが新しいステージに変わります。これまでの生活を振り返り、また、これからの思いを、お互いに語り合ってもらいたいと思います。これまでの集大成としての学期であることや、次のステージを意識して、残りの日々を過ごしましょう。

2 学習の見直しを自分で行う生徒に

これまでも行っているとは思いますが、分からないところを見直す取り組みを行いましょう。特に家庭学習では、目的を持って取り組み、自分の力を自分で高めていきましょう。

3 心身ともに健康で、心のこもったあいさつができる生徒に

先日、「自分の力を人のために使う」という話がありました。係活動や様々な場面で、人のために活動していると思います。そこで、これまでにプラスして、自分からの気づきで行動できる人になってほしいと思います。また、人の嫌がることをしない、言わないことで、互いの学校生活が過ごしやすくなります。新型コロナやインフルエンザへの感染予防にも心がけ、心身ともに健康な生活を送れるようにしましょう。

また、生徒会から「ワンストップあいさつ」に取り組む話が出ていました。北有馬中学校の良さを生かしましょう。

私立高校入試始まる

1 月 8 日（日）から、私立高校の入学試験が始まりました。本校からは、青雲高校・創成館高校・長崎日大高校・向陽高校・島原中央高校・鎮西学院高校を受験します。

来週は、私立高校の多くの学校が試験を実施します。また、2 月 1 日（水）・2 日（木）は、公立高校の前期試験が行われます。



3 年生の皆さん、健康管理に注意し、自信を持ってこれまでの学習の成果を大いに発揮しましょう。



1・2 年生の皆さん、1・2 年後はこの日がやってきます。日々の学習や生活の積み重ねが、自分のこれらにつながっていきます。先の見通しを持ち、一日一日を大切に、来る日を迎えましょう。



ひとつこと ふたこと

女優の上白石萌音さんが、あるインタビューで、大人になってからもう一度絵本を読むと、新しい出会いがあるというようなことを言っていました。個人的にも同じような体験をしたことがあります。小学校 6 年生の時の教科書に、谷川俊太郎さんの「生きる」という詩が載っていました。当時は全く意味が分からなかったのですが、大人になって改めて読みなおすと、なるほどそういうことだったのかとわかりました。読書の楽しみは、こういうところにもあります。今は分からなくても、時を経て読んでみましょう。また、いろいろな本を読んで、自分の考えを広げたり深めたりしてみましょう。

